

キャンパスライフに対するアンケート結果（令和元年度）

稲吉政岳、林 正樹、渡邊千春、神坂恵行、桑原真裕子、
竹村 香、新井奈津美、小池美津貴、岩崎みすず、三浦弥生

【目的】

本学学生の学生生活に対する満足度、学生の知識・能力の変化、教育に対する満足度を調査することにより、教育内容や短期大学スタッフの在り方を見直し、今後の教育活動や業務活動の改善及び充実を図る一助とする。

【方法】

1. 研究デザイン：量的調査
2. 対象：本学に在学する全学生（悉皆調査）
3. 調査期間
令和元年 12 月 18 日～令和 2 年 1 月 22 日
4. 調査内容
質問項目は、対象者の属性、サポート体制、教育施設・設備、入学後の能力や知識の変化、学生生活等の満足度、教育への満足度※、学習時間※とした。※別途各学科・専攻で評価検討
5. データ収集方法
無記名自記式質問紙法を用いた。
6. 分析方法
(1) 単純集計（項目ごとに割合を算出）
(2) 4 件法で回答を得た項目は点数化（1～4 点）しその平均値を算出
(3) 自由記載を類似内容に分類
7. 倫理的配慮

質問紙は、クラスごとに教職員が調査の趣旨を説明した後に配布し、記入内容が他者の目に触れないように配慮して回収した。

【結果】

対象者数 495、回収数 456（回収率 92.1%）、有効回答数 453 であった。

1. サポート体制

平均点数が高い順位に「教務課（3.5）」「財務・庶務課（3.4）」「広報課（3.4）」「学生課（3.4）」「図書館（3.4）」であった。平均点数が最も低かった項目は「Web 休講・補講サイトの利用（1.6）」であり、利用について「当てはま

らない」「どちらかと言えば当てはまらない」が 85.3%を占め、その理由は「やり方が分からない（20%）」「存在を知らない（14%）」「面倒（10%）」「Web をみない（9%）」であった。

2. 教育施設・設備

利用しないを除外すると「駐車場（2.0）」「空調（2.6）」の充実に「当てはまらない」「どちらかと言えば当てはまらない」が 4 割を超える。利用しないを含むと「クラブ・同好会活動の施設（1.9）」の充実が最も低かった。

3. 入学した時点と比べた知識や能力の変化

平均点数が高かったのは「専門分野や知識（3.6）」「他の人と協力する力（3.4）」であり、低かったのは「リーダーシップの能力（2.7）」「プレゼンテーション能力（2.9）」であった。

4. 学生生活（全般）への満足度

「満足」「まあまあ満足」が 80.7%であり、昨年と比して 4.1%上昇した。

5. 自由記載

全 142 件中、施設設備の充実にに関するものが最も多く「冷暖房（21 件）」「駐車場（20 件）」「Wi-fi（9 件）」「ロッカー（7 件）」であった。

【考察】

人的サポートは比較的充実していると言えるが、施設設備に関しては要望が多く、更なる対策が求められる。専門分野の知識の修得はできているが、知識を外に向けて表現、発信する力が不足している。学生ニーズを踏まえながら正課外の活動であるクラブ・同好会活動の施設設備の充実などを考えていくことも、その力をつける一つの機会として有効であると考え。

【まとめ】

今回の調査で把握できた改善すべき項目については、関係部署との連携、協議をはかりたい。また、学生の満足度の向上のため、今後も本調査を継続していくことが必要である。